

2010年に東芝ノートPC（パソコン）のビジネスは25周年を迎え、11月には累計販売台数が全世界で1億台を達成しました。1985年に欧州で世界初のラップトップPCを商品化して以来、PCは多くの技術を取り入れ、新たな顧客価値を提供するデバイスとして進化し続けてきました。

その記念すべき25周年に、世界初の2画面タッチパネルを採用したミニノートPC “libretto™ W100” は、独自の表示制御技術で、様々な利用シーンに対応できるようにしました。また、世界一の“軽さ”を実現したスリムモバイルPC “dynabook™ RX3”^(注)は、標準部品を採用しながら、独自の基板小型化技術、筐体（きょうたい）設計技術、新冷却技術で、高性能とコスト削減を実現しました。更に、2010年の秋には、“Toshiba Places”を欧米で開始しました。これは単にデバイスの提供にとどまらず、ネットワークビジネスに事業を拡大するもので、ネットワークを通してアプリケーションソフトウェアや、各種コンテンツ、サービスをユーザーに提供します。

また、(社)産業環境管理協会から製品開発における環境配慮設計が認められ、“LCA日本フォーラム会長賞”を受賞しました。

PCは、一家に1台からひとり1台、そして、ひとり数台の時代が来ています。また、2台目以降のPCは、機能がPCでも形状が多様なインターネット端末に変わってきました。当社は、革新的な技術を生かして、多様化するユーザーニーズを先取りした商品及びネットワークサービスを提供することで、更なる顧客価値を創出していきます。

(注) ハイライト編のp.5に関連記事掲載。

統括技師長 下辻 成佳

● ミニノートPC libretto W100

libretto W100は、東芝ノートPC 25周年記念モデルの一つとして開発した、世界初^(注)のWindows® 搭載2画面タッチパネルPCである。

二つの7.0型 WSVGA (1,024×600画素) 液晶ディスプレイ (LCD) を搭載して9.3型 (1,024×1,200画素) LCD 相当の情報を閲覧できるようにするとともに、当社独自の高密度実装技術によって約699gという軽量化を実現した、新しいコンセプトのミニノートPCである。

2画面タッチパネルの採用と独自の表示制御技術を用いて、本体の向きを変えると加速度センサで傾きを検知し横画面と縦画面が自動的に切り替わる。また、画面に表示するソフトウェアキーボードは、PCと同じキー配列のフルタイプ、文字入力に絞ったシンプルタイプ、右手・左手用部分を分離したスプリットタイプ、及びテンキータイプの中から目的に合わせて使用できる。

一つの画面にソフトウェアキーボードを表示してノートPCのように使用したり、縦方向に持ち替えて本のように書籍コンテンツを読んだり、様々な利用シーンに対応できる。また、二画面を折り畳むことでコンパクトな形状となり、手軽に持ち歩くことができる。

インテル社のデュアルコア プロセッサを搭載し、優れた処理性能と先進的な省電力機能によってストレスのない快適な操作が可能である。

(注) 2010年8月時点、当社調べ。



ミニノートPC libretto W100
libretto™ W100 mini-notebook PC



2画面の有効な使い方
Effective usages of dual screen

● オールインワンAV PC dynabook Qosmio™ DX



dynabook Qosmio DX

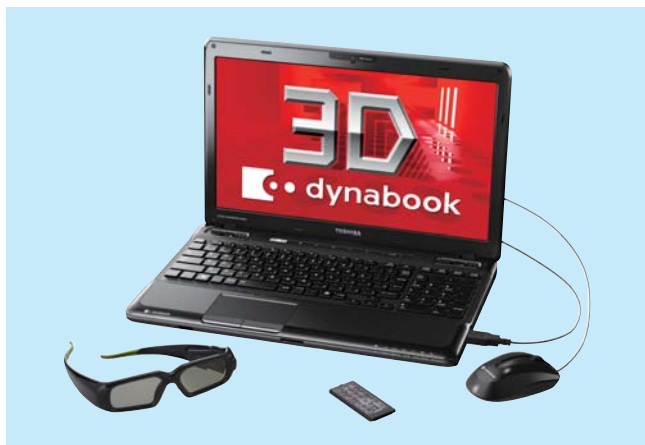
dynabook™ Qosmio™ DX all-in-one audiovisual (AV) PC

dynabook Qosmio DXは、東芝ノートPC 25周年記念モデルとして、長年培ってきたAVの技術とノートPCの技術を集めて開発した液晶一体型AV PCである。

当社の液晶テレビ (TV) レグザ (REGZA) のデザインを受け継いだスリムでスタイリッシュな本体に、ハイビジョン映像をありのままに再現できる21.5型フルHD (1,920×1,080画素) LCD、映像処理能力を向上させる映像専用エンジン“SpursEngine™”、及びオーディオで培った技術が生かされているオンキヨー (株) 製スピーカを搭載し、AV機器としての魅力を充実させている。

また、ゲーム機やAV機器を接続できるHDMI®入力端子とD4映像入力端子を搭載し、大きなLCDを有効に活用することができる。

● 3D対応ノートPC dynabook TX/T550シリーズ



dynabook T550 3Dモデル

dynabook T550 three-dimensional (3D) notebook PC

dynabook TX/T550シリーズ 3D (3次元) モデルは、高音質なharman/kardon®スピーカを採用するなど、高い娯楽性を持つdynabook TX/T550シリーズをベースに、専用GPU (Graphics Processing Unit) と120 Hz倍速駆動方式のLCDを搭載し、NVIDIA® 3D Vision™技術による3D立体視を楽しむ機能を実現した。

既存のゲームコンテンツやブルーレイ3Dタイトルでの3D立体視だけではなく、2010年9月からは、“TOSHIBA VIDEO PLAYER 3D”の当社独自のアルゴリズムと高画質化機能により、2D (2次元) 映像を自然で美しい3D映像にリアルタイムで変換して楽しめるようになった。

また、PC内の3DコンテンツをHDMI®インタフェースを経由して出力し、3D立体視に対応したレグザなどのTVに表示させて3D立体視を楽しむことができる機能も実現した。

関係論文：東芝レビュー. 65, 10, 2010, p.23-26.

● ファミリー PC Satellite L630/L635



ファミリー PC Satellite L630/L635

Satellite L630/L635 family-friendly notebook PC

ファミリー PC Satellite L630/L635は、13.3型LCDを搭載したスタンダードPCのSatellite L630/L635シリーズの中で、特にこども向けにデザインされたPCである。

こどもが遊びに使用するPCをコンセプトに設計し、通常のファンクションキーの代わりにインターネットキーや、オーディオコントロールキー、カメラキーなど便利なキーを配置した。キーボードはシリコン (Si) 製カバーで覆っており、飲みこぼしや、菓子のごみ、手から付着した汚れを簡単にふき取ることができ、更に、Si製ゴムを四隅の天面に突起を設けるように設置することで耐衝撃性能の向上も図っている。

● ネットブックPC dynabook N300

dynabook N300は、高音質のharman/kardon® ステレオスピーカーを搭載した世界初の^(注1)ネットブックPC^(注2)である。

当社独自の“東芝スリープユーティリティ”を搭載しており、PC本体の電源がオフの状態^(注3)でもオーディオ入力端子に接続したオーディオプレーヤーの音楽をPC本体のスピーカーで聴くことができる。また、明るい色のラバー調の天面塗装にディンプル（細かい凹み）模様を施しアクティブ感を演出しており、常に持ち歩きたくなるようデザインしている。

(注1) 2010年11月時点、当社調べ。

(注2) インターネット関連のサービスの利用を主な目的とした小型でシンプルかつ低価格なノートPC。

(注3) スリープ、スタンバイ、及び休止の状態を含む。



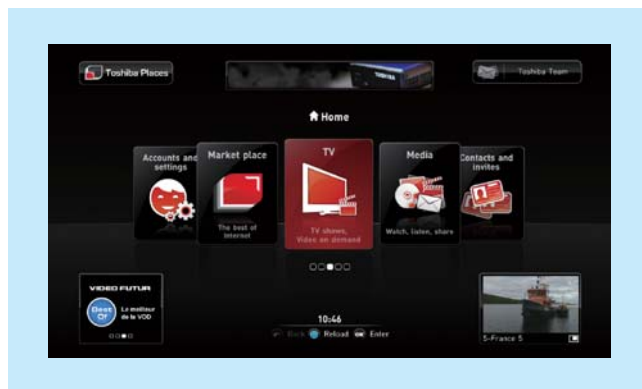
ネットブックPC dynabook N300

dynabook N300 netbook PC

● クラウドベースのサービス“Toshiba Places”

Toshiba Placesは、コンシューマー向けクラウドベースの当社サービスの総称である。欧州でIP (Internet Protocol) TV向けコンテンツが普及してきているなか、ユーザーがデジタル機器を購入後、いかにデジタルライフを満喫してもらうかを検討してきた。

先にサービスを開始した欧州向け Toshiba Placesでは、ネットワーク経由でビデオ オン デマンドや音楽などの有料コンテンツの購入に加え、スポーツニュース、イエローページなどのオンラインサービスのほか、家族や友人とプライベート動画や写真の共有ができるようにした。TV, PC, スレート端末などの異なったデバイスで共通に楽しめるよう、デバイスの特性に合わせた共通のユーザーインターフェースを提供している。



Toshiba Placesのトップ画面

Top screen of Toshiba Places online content and services portal site

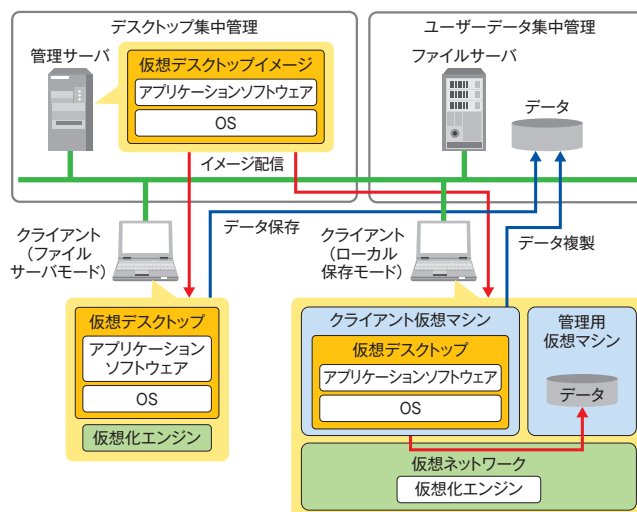
● 仮想シンクライアント SV-PC™

SV-PCは、PCのセキュリティの強化と運用管理負荷の低減を図る企業向けPC用のソフトウェア製品である。

この製品は、大規模なサーバシステムを導入せずにシンクライアントシステムを実現できる点が特長である。

クライアントPC用の仮想デスクトップ環境（基本ソフトウェア（OS）、アプリケーションソフトウェア）を管理サーバ上で集中管理する機能を搭載し、クライアントPCの環境の保守と管理を容易にした。また、クライアントPCのユーザーデータをファイルサーバで集中管理して、クライアントPC内にユーザーデータを残さないようにする機能を搭載し、PC紛失時や磁気ディスク装置（HDD）抜取りによるPC内データの漏えい防止を実現した。

関係論文：東芝レビュー、65、2、2010、p.44-47.



仮想シンクライアント SV-PC

Outline of SV-PC™ virtual thin client

● 1 Way コンパクトサーバ MAGNIA™ CT400



1ウェイコンパクトサーバ MAGNIA™ CT400
MAGNIA™ CT400 one-way compact servers

省スペースで静音かつ高性能という相反する要求を実現した新製品 MAGNIA CT400を開発した。

CPUはIntel® Xeon® プロセッサ又はIntel® Pentium® プロセッサを搭載し設置面積を従来最小機種の約半分以下に抑えた。小型筐体に高性能CPUを搭載することで課題となる発熱を、複数の冷却ファンの最適制御と高効率電源の採用により解決し、図書館並み（約40 dB）の静音性を実現した。

更に、SATA (Serial Advanced Technology Attachment) HDD 搭載モデルとSAS (Serial Attached SCSI (Small Computer System Interface)) HDD 搭載モデルをラインアップしたことで、小規模オフィスに求められる様々な設置環境に適用可能なコンパクトサーバとして提供できる。

● 小型高性能IAサーバ MAGNIA 2615R/3615R



高性能IAサーバ MAGNIA 2615R/3615R
MAGNIA 2615R/3615R high-performance Intel® architecture (IA) servers

Intel® Xeon® プロセッサ 5600 シリーズを搭載できる、2 Way ラック型サーバ MAGNIA 2615R/3615Rの2機種を開発した。HDD 搭載容量の拡大や、最大192 Gバイトの主記憶メモリ、4ポートLANカードなど、オプション類の拡張性を強化し、仮想化環境での性能を確保した。

また、“80 PLUS Gold電源”や省電力タイプのメモリ、周囲温度や装置内部の温度変化に応じたファン制御の効率化などにより、低騒音・低電力化を実現した。

電源装置や冷却ファンなど、システムの重要部品の二重化や、当社独自の“RAID Masterエンジン”を搭載したRAID (Redundant Array of Independent (Inexpensive) Disks) コントローラの搭載などにより、高い信頼性と可用性^(注)を提供している。

(注) システム障害が起これにくく、障害発生時には復旧が早いこと。

● USBビデオクラス対応フルHDカラーカメラ IK-HR2D



フルHDカラーカメラ IK-HR2D
IK-HR2D full-high-definition (HD) color camera

DVI-D (Digital Visual Interface-Digital) 出力に加え、USB (Universal Serial Bus) ビデオクラスにも対応したフルHDカラーカメラ IK-HR2Dを商品化した。

1/3型200万画素CMOS (相補型金属酸化膜半導体) センサを採用し、1080 pのフルHD出力に対応した。外形寸法は44 (幅)×44 (高さ)×78 (奥行き) mm、質量は148 gと小型・軽量化を実現した。

また、CMOSカラーカメラ専用の画像処理エンジンを搭載し、高画質を実現している。映像信号は、DVI-D出力に加え、新たにUSBビデオクラス1.1に準拠した出力にも対応し、PCへの映像取込みを容易にした。